

# 第1回定時総会

2025年度



2025年 1月17日(金)

柴田・大河原・村田・川崎

SINCE 1983

一般社団法人さくら青年会議所

# 1年間を振り返って

平間 俊博

2024年を振り返るにあたり、まず先輩方、菅原専務をはじめとするさくらメンバーの皆様、各地青年会議所メンバーの皆様、地域住民、他団体の皆様、お支えいただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

2024年さくら青年会議所は少人数でのスタートとなり、地域にとってどのような存在でいられるのか、青年会議所としての本来の役割を提供できるのか、不安からのスタートとなりました。しかし、何もしないわけにもいきません。まずは礎となる仲間を1人でも多く作ろうと行動を興しました。結果といたしまして、東北地区のアワードでは10人以下の部第1位、また拡大グランプリを受賞、アワードジャパンでは拡大褒賞を受賞し、ゴールデンゴングを手にすることができました。

地域にインパクトを与えるような大きな事業や運動を展開することはできなかった1年間だったのかもしれませんが。しかし2024年の1年間で得た経験は良し悪しありますが何にも変え難く大変貴重なものでもあり大きな自信に繋がったと確信しております。この経験を糧にし、今までの経験をひとつでも多く受け継ぎ、悔いのない最後の1年を過ごしてまいります。

重ねての御礼とはなりますが1年間ありがとうございました。

# 一般社団法人さくら青年会議所

## 2024年度事業報告

2024年度 専務理事 菅原 大樹

日付	時間	会議／事業名	出席者数
1月16日	19:30	第1回三役会	5名
1月16日	19:30	第1回理事会	5名
1月23日	—	第1回定時総会（書面開催）	—
2月6日	19:30	第2回三役会	3名
2月20日	19:30	第2回理事会	5名
2月25日	15:00	2月例会	4名
3月5日	19:30	第3回三役会	3名
3月19日	19:30	第3回理事会	5名
3月23日	9:00	3月例会	2名
4月2日	19:30	第1回臨時理事会兼第4回三役会	4名
4月16日	19:30	第4回理事会	4名
4月20日	18:00	4月例会	9名
5月7日	19:30	第5回三役会	3名
5月21日	19:30	第5回理事会	5名
6月4日	19:30	第6回三役会	4名
6月15日	17:00	6月例会	4名
6月18日	19:30	第6回理事会	5名
7月2日	19:30	第7回三役会	3名
7月16日	19:30	第7回理事会	4名
7月20日	10:00	7月例会	3名
8月6日	19:30	第8回三役会	3名
8月20日	19:30	第8回理事会	5名
8月27日	18:30	8月例会	6名
9月3日	19:00	第9回三役会	4名
9月17日	19:00	第9回理事会	4名
9月27日	18:00	第2回定時総会	8名
10月1日	19:00	第10回三役会	4名
10月15日	19:00	第10回理事会	4名
11月5日	19:00	第11回三役会	3名
11月19日	19:00	第11回理事会	4名
12月20日	18:30	12月例会	4名
12月27日	19:00	第12回三役会	4名
12月27日	19:00	第12回理事会	4名

# 2024年度理事会報告

専務理事 菅原 大樹

## 2024年度第1回理事会議 2024年1月16日(火)

- 第1号議案 2024年度理事長承認の件
- 第2号議案 2024年度理事長所信承認の件
- 第3号議案 新入会員承認の件
- 第4号議案 2024年度さくら青年会議所組織図承認の件
- 第5号議案 2024年度例会スケジュール承認の件
- 第6号議案 2024年度役職職務承認の件
- 第7号議案 2024年度賛助会員承認の件
- 第8号議案 2024年度年間スケジュール承認の件
- 第9号議案 2024年度予算承認の件
- 第10号議案 2024年度第1回定時総会承認の件

## 2024年度第2回理事会議 2024年2月20日(火)

- 第11号議案 2024年度2月例会承認の件

## 2024年度第3回理事会議 2024年3月19日(火)

- 第12号議案 2024年度3月例会承認の件
- 第13号議案 2024年度さくら青年会議所組織図承認の件

## 2024年度第1回臨時理事会議 2024年4月2日(火)

- 第14号議案 2024年度4月例会承認の件

## 2024年度第4回理事会議 2024年4月16日(火)

- 第15号議案 新入会員承認の件

## 2024年度第5回理事会議 2024年5月21日(火)

- 第16号議案 新入会員承認の件

## 2024年度第6回理事会議 2024年6月18日(火)

- 第17号議案 2024年度7月例会承認の件
- 第18号議案 組織図承認の件
- 第19号議案 新入会員承認の件

## 2024年度第7回理事会議 2024年7月16日(火)

- 第20号議案 2024年度8月例会承認の件
- 第21号議案 組織図承認の件

## 2024年度第8回理事会議 2024年8月20日(火)

- 第22号議案 2024年度第2回定時総会承認の件

## 2024年度第11回理事会議 2024年11月19日(火)

- 第23号議案 組織図承認の件
- 第24号議案 2024年度12月例会承認の件

## 2024年度第12回理事会議 2024年12月27日(金)

- 第25号議案 2024年度2月例会事業報告承認の件
- 第26号議案 2024年度3月例会事業報告承認の件

第27号議案	2024年度4月例会補正予算承認の件
第28号議案	2024年度4月例会事業報告並びに決算承認の件
第29号議案	2024年度6月例会事業報告承認の件
第30号議案	2024年度7月例会事業報告承認の件
第31号議案	2024年度8月例会補正予算承認の件
第32号議案	2024年度8月例会事業報告並びに決算承認の件
第33号議案	2024年度第2回定時総会補正予算承認の件
第34号議案	2024年度第2回定時総会事業報告並びに決算承認の件
第35号議案	2024年度12月例会事業報告並びに決算承認の件
第36号議案	増井英昭君退会承認の件

## 2024年度会員増減状況

2023年度末	会員数	3名
2024年度末	休会者数	0名
入会者		10名
卒業者	津田政春 大久保慎二	2名
退会者	増井英昭	1名
除名		0名
2024年度末	会員数	10名

第 1 6 期

# 財 務 諸 表

自：令和 6年 1月 1日

至：令和 6年12月31日

〒989-1755

宮城県柴田郡柴田町槻木西一丁目13番25号

一般社団法人 さくら青年会議所

(法人番号:2370105001549)

理事長 平間 俊博

## 貸借対照表

令和 6年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	230,287	265,905	35,618
未収会費	120,000	0	120,000
前払費用	0	240,000	240,000
仮払金	18,378	0	18,378
貸倒引当金	120,000	0	120,000
流動資産合計	248,665	505,905	257,240
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
什器備品	99,351	114,591	15,240
リース資産	61,600	154,000	92,400
その他固定資産合計	160,951	268,591	107,640
固定資産合計	160,951	268,591	107,640
資産合計	409,616	774,496	364,880
負債の部			
1. 流動負債			
リース債務	69,300	92,400	23,100
流動負債合計	69,300	92,400	23,100
2. 固定負債			
リース債務	0	69,300	69,300
固定負債合計	0	69,300	69,300
負債合計	69,300	161,700	92,400
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	340,316	612,796	272,480
正味財産合計	340,316	612,796	272,480
負債及び正味財産合計	409,616	774,496	364,880

貸借対照表内訳表

令和 6年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	230,287	0	230,287
未収会費	0	0	120,000	0	120,000
仮払金	0	0	18,378	0	18,378
貸倒引当金	0	0	120,000	0	120,000
流動資産合計	0	0	248,665	0	248,665
2. 固定資産					
(1)基本財産					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2)特定資産					
特定資産合計	0	0	0	0	0
(3)その他固定資産					
什器備品	0	0	99,351	0	99,351
リース資産	0	0	61,600	0	61,600
その他固定資産合計	0	0	160,951	0	160,951
固定資産合計	0	0	160,951	0	160,951
資産合計	0	0	409,616	0	409,616
負債の部					
1. 流動負債					
リース債務	0	0	69,300	0	69,300
流動負債合計	0	0	69,300	0	69,300
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	69,300	0	69,300
正味財産の部					
1. 指定正味財産					
2. 一般正味財産	0	0	340,316	0	340,316
正味財産合計	0	0	340,316	0	340,316
負債及び正味財産合計	0	0	409,616	0	409,616

## 正味財産増減計算書

令和 6年 1月 1日 から令和 6年 12月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
新入会員受取入会金	100,000	0	100,000
受取会費			
正会員受取会費	100,000	1,000,000	900,000
新人会員受取会費	500,000	0	500,000
特別会員受取会費	100,000	100,000	0
賛助会員受取会費	490,000	300,000	190,000
受取会費計	1,190,000	1,400,000	210,000
受取寄付金			
受取寄付金	8,541	5,506	3,035
雑収益			
受取利息	10	9	1
経常収益計	1,298,551	1,405,515	106,964
(2) 経常費用			
事業費			
会場設営費	10,690	69,640	58,950
講師関係費	22,000	0	22,000
資料作成費	0	272,800	272,800
参加記念品費	14,773	37,400	22,627
雑費	0	110	110
事業費計	47,463	379,950	332,487
管理費			
渉外費	38,093	34,876	3,217
通信運搬費	311,056	428,514	117,458
減価償却費	107,640	109,978	2,338
消耗品費	66,451	38,058	28,393
光熱水料費	0	13,149	13,149
賃借料	372,000	152,000	220,000
租税公課	0	40,000	40,000
支払負担金	299,643	351,166	51,523
委託費	198,000	198,000	0

貸倒償却	120,000	0	120,000
雑費	10,685	6,380	4,305
管理費計	1,523,568	1,372,121	151,447
経常費用計	1,571,031	1,752,071	181,040
評価損益等調整前当期経常増減額	272,480	346,556	74,076
当期経常増減額	272,480	346,556	74,076
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	272,480	346,556	74,076
当期一般正味財産増減額	272,480	346,556	74,076
一般正味財産期首残高	612,796	959,352	346,556
一般正味財産期末残高	340,316	612,796	272,480
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	340,316	612,796	272,480

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 1月 1日 から令和 6年 12月 31日 まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金					
新入会員受取入会金	0	0	100,000	0	100,000
受取会費					
正会員受取会費	0	0	100,000	0	100,000
新入会員受取会費	0	0	500,000	0	500,000
特別会員受取会費	0	0	100,000	0	100,000
賛助会員受取会費	0	0	490,000	0	490,000
受取会費計	0	0	1,190,000	0	1,190,000
受取寄付金					
受取寄付金	0	0	8,541	0	8,541
雑収益					
受取利息	0	0	10	0	10
経常収益計	0	0	1,298,551	0	1,298,551
(2) 経常費用					
事業費					
会場設営費	0	0	10,690	0	10,690
講師関係費	0	0	22,000	0	22,000
参加記念品費	0	0	14,773	0	14,773
事業費計	0	0	47,463	0	47,463
管理費					
渉外費	0	0	38,093	0	38,093
通信運搬費	0	0	311,056	0	311,056
減価償却費	0	0	107,640	0	107,640
消耗品費	0	0	66,451	0	66,451
賃借料	0	0	372,000	0	372,000
支払負担金	0	0	299,643	0	299,643
委託費	0	0	198,000	0	198,000
貸倒償却	0	0	120,000	0	120,000
雑費	0	0	10,685	0	10,685
管理費計	0	0	1,523,568	0	1,523,568
経常費用計	0	0	1,571,031	0	1,571,031
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	272,480	0	272,480
当期経常増減額	0	0	272,480	0	272,480
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	272,480	0	272,480
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	272,480	0	272,480
当期一般正味財産増減額	0	0	272,480	0	272,480
一般正味財産期首残高	0	0	612,796	0	612,796
一般正味財産期末残高	0	0	340,316	0	340,316

指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
正味財産期末残高	0	0	340,316	0	340,316

財産目録

令和 6年 12月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	普通預金	七十七銀行大河原支店	運転資金として	230,287
	未収会費	新入会員 2名	未収会費等として	120,000
	仮払金	大河原税務署	過払所得税	18,378
	貸倒引当金			120,000
流動資産合計				248,665
(固定資産)				
その他固定資産				
	什器備品	プレディンシャルリース	事業の用に供している	99,351
	リース資産	シャープ複合機	事業の用に供している	61,600
固定資産合計				160,951
資産合計				409,616
(流動負債)				
	リース債務	シャープ複合機	売買処理を行ったリース契約に基づく支払義務のうち、支払日が1年以内に到来するもの	69,300
流動負債合計				69,300
固定負債合計				0
負債合計				69,300
正味財産				340,316

財務諸表に対する注記

令和 6年 12月 31日 現在

載の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は発生していない。

2. 重要な会計方針

当財務諸表は、内閣府公益認定委員会によって平成20年4月11日に定められた公益法人会計基準に基づいて作成している。

(1) 財務諸表の種類・範囲、会計区分

財務諸表の種類・範囲

貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録

会計区分

当法人は、次の根拠により公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の3つに区分している。

- ・公益目的事業とは、公益法人認定法第2条第4号に定める事業である。
- ・収益事業等とは、上記以外の事業であり、公益法人認定法第19条により区分経理している。
- ・法人会計とは、法人の管理業務に関する会計である。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(4) 固定資産の減価償却の方法

定率法にて実施している。

(5) 引当金の計上基準

貸倒引当金（貸倒償却）

- ・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法上の法定繰入率により、貸倒懸念債権及び破産厚生債権等については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし。

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	244,760	145,409	99,351
リース資産	462,000	400,400	61,600
小計	706,760	545,809	160,951
合計	706,760	545,809	160,951

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収会費	120,000	120,000	0
合計	120,000	120,000	0

9．保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

10．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし。

11．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

12．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

13．重要な後発事象

該当なし。

14．その他

事業報告の附属明細書

令和6年事業年度においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在していないので作成しておりません。

一般社団法人さくら青年会議所  
2024年度理事長 平間 俊博 様

## 監査報告書

当一般社団法人さくら青年会議所の2024年1月1日から12月31日までの2024年事業年度の会計監査及び業務監査を行い、ここに報告致します。

### 1 監査方法

- （1） 会計監査については、会計帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、事業報告書、並びに財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録、収支予算書等の正確性を検討した。
- （2） 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

### 2 監査意見

- （1） 事業報告の内容は、真実であると認める。
- （2） 財務諸表等は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産並びに正味財産の増減状況を正しく示しており、法令、定款、公益法人会計基準に従い適正であると認める。
- （3） 理事の職務執行に関する不正行為、又は、法令若しくは定款に違反する重大な過失は無いと認める。

以上

2025年1月 8 日

一般社団法人さくら青年会議所 2024年度 監事

監事

森 裕樹



監事

斎藤 優

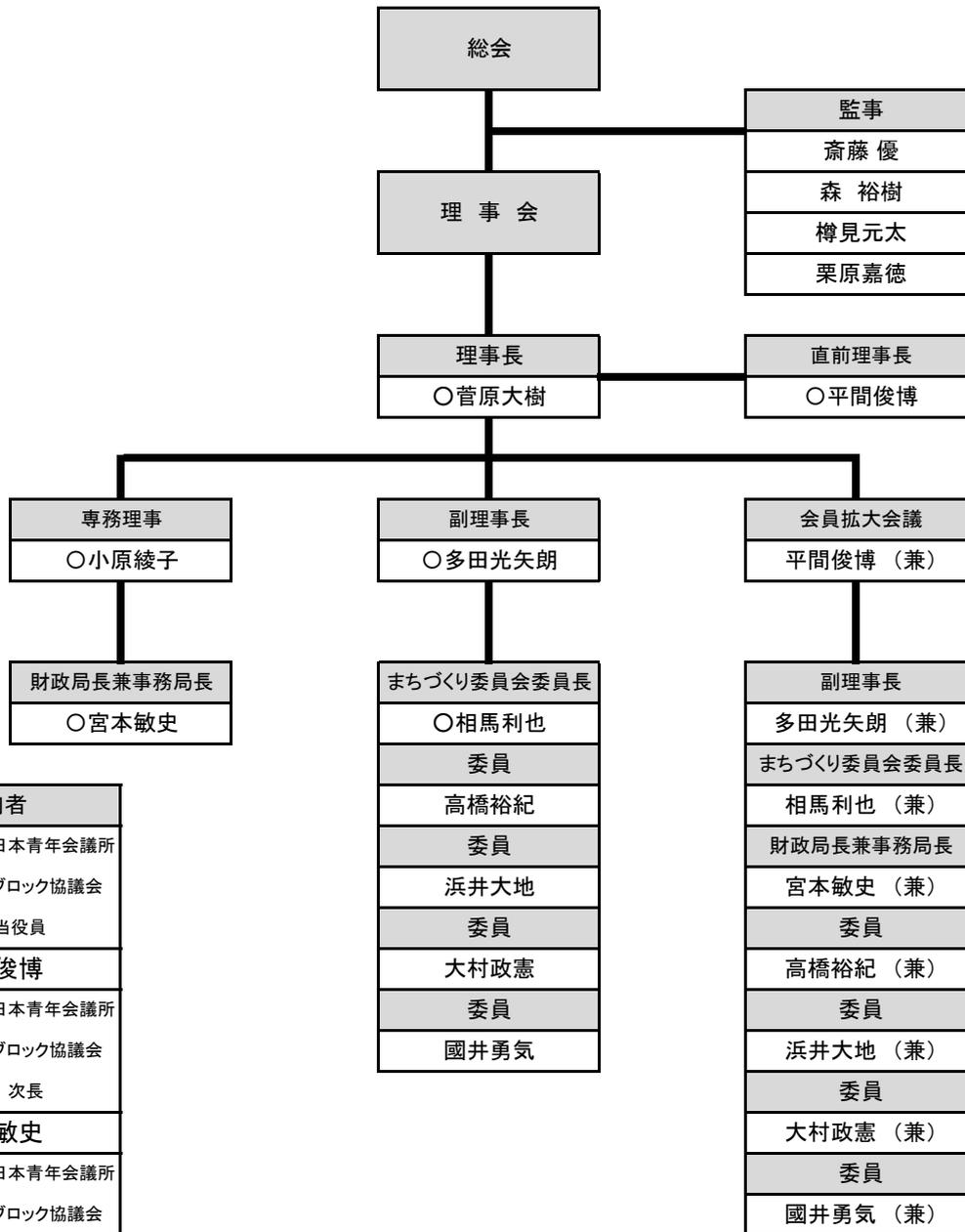


# 一般社団法人さくら青年会議所 2025年度組織図

国際青年会議所
公益社団法人 日本青年会議所
公益社団法人 日本青年会議所東北地区協議会
公益社団法人 日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会

顧問
柴田町長
大河原町長
村田町長
川崎町長

理事6人(○理事)



出向者
公益社団法人 日本青年会議所 東北地区宮城ブロック協議会 監査担当役員 平間俊博
公益社団法人 日本青年会議所 東北地区宮城ブロック協議会 財政局 次長 宮本敏史
公益社団法人 日本青年会議所 東北地区宮城ブロック協議会 みやぎJCアカデミー委員会 多田光矢朗

一般社団法人さくら青年会議所 2025年度理事

理事長	菅原 大樹
直前理事長	平間 俊博
専務理事	小原 綾子
副理事長	多田 光矢朗
まちづくり委員会 委員長	相馬 利也
財政局長兼事務局長	宮本 敏史

<はじめに>

私は青年会議所に2018年に入会しました。入会当初は社業を優先し、時間を作り出すことができずに言い訳をして、JC活動に意欲的に参加できずにいたと思います。そうしたなかで2021年に宮城ブロック協議会に出向させていただき、宮城ブロック11LOM、たくさんのメンバーが関わり、日々協力して事業を構築していく姿を目の当たりにし、衝撃を受けました。当時の私は微力ながら、事業成功のため必死に行動をしました。事業が全て終了した時の高揚感は今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。この時の出向が私の契機となり、できる範囲で積極的に参加するようにしようと考えようになり、現在ではたくさんの仲間も増え、今もJC活動を行う根幹となっております。

我々の活動エリアでは少子高齢化や人口減少によるイベントの削減や簡素化、また、さくら青年会議所では会員の減少が進み次代のリーダー育成不足、関係各所との連携構築等、現在の環境に流されていると感じます。時代の変化に応じて社会が求めるものが変わるように、私たちも組織の在り方を変える必要があります。しかし1人では何もできないと私は考えます。1人1人が責任を持つことを自覚しなければなりません。また、課題解決に向けた行動を起こし、仲間と共に努力し、困難に立ち向かいながら、確かな成長を築いていくことが持続可能な発展への道であります。

<仲間とともに次代へつなぐ>

どんなに素晴らしい活動を行おうとしても、一人でできることは限られております。それは青年会議所においても同じであると考えます。近年、全国的な会員減少が問題視されておりますが、会員拡大運動は青年会議所の基本運動の一つです。活動の幅を広げ、組織をより強固なものにするとともに、新しい仲間との出会いはメンバー一人ひとりにとっても新たな成長の機会となる運動の一つになっているものと信じています。昨年、大幅な会員拡大に成功しましたが今後も継続して拡大運動を行わなければなりません。本年度は100%拡大を目標に掲げ行動します。今後5年間で本年のメンバーの半数が卒業を迎える現状の中で、さくら青年会議所では会員拡大が最重要課題であると考えます。次代へ繋ぎ、永続的に活動していくためには一人でも多くの志を同じくする仲間を増やすことが必要です。志を同じくする青年との出会いの機会を創出し、OBの諸先輩方にも連携、協力を仰ぎ、メンバー一人ひとりが拡大意識をもつことが重要です。これこそ、今後も組織の価値を高めることに繋がると考えます。共感者を増やすとともに、地域からより必要とされる組織を目指します。

#### <メンバーの育成>

さくら青年会議所のメンバーは、入会2年未満が8割を占め、育成に力を入れることも急務です。またメンバーの経験が少ないため、事業や運動を展開することも難しい現状があります。まずはメンバーの成長機会の場としてどのような小さな成功体験でも良いので、少しずつ積み重ね、成長と楽しさを実感してもらえるような環境を提供していくことが必要です。しかし我々だけでは限界があると考えます。次世代におけるリーダーの力強い成長を促し、さくら青年会議所が永続的な発展を遂げるための土壌を育みます。また、研修も積極的に行いたいと考えます。経験の少ないメンバーも知識で補うことのできる非常に有効的なツールと考えるからです。経験し蓄積された知識などは自分のために還元させるのはもちろんですが、各自の得た経験等を新しいメンバーに伝えていくことが大切だと考えます。人数が少ない今だからこそ、成長できるスピードの速さ、メンバーへの機会の提供の多さを活かし、メンバー間で育成し合える環境を整えます。

#### <組織づくりと視野を広げる活動>

2025年度は10名でスタートします。会員構成も以前とは変わった種別になってきていると考えます。これまでは会社の代表、社長などが主な会員構成でしたが、現在は会社員の会員も増えており、全ての会議、事業などに出席できるメンバーも少ないのが現状です。さくら青年会議所として会員拡大は最重要課題ではありますが、少ない人数でも出来る円滑な組織運営を考え、柔軟に対応していく必要があります。青年会議所としての組織の形ばかりにとらわれず、まずは誰もが使命を持ちJC運動・活動ができるよう、メンバー同士が共通の目的、共通の意思を持ち、細かな情報共有をおこなうことで補い合う組織に成長することができると考えます。本人の意思を尊重しながらも活動へ意欲的に参加できるさくら青年会議所を目指します。また、各種大会や各地会員会議所事業への参加は、青年会議所に所属するすべての会員に開かれたLOMの垣根を越えてJC運動のスケールを体感できる大きな機会です。しかし、活動に参加できなければ貴重な機会を逃すだけです。昨年は私も含め、各種大会などに参加するメンバーが少なくLOMや自らに還元することがあまりできなかったと思います。今年度は、各種大会・事業への参加を通じて、他の会員会議所の良いところを真似してでも取り入れてみる、大会や事業で見て感じたことを会議で提案する、今のさくら青年会議所には必要なことだと考えます。また、各地会員会議所のメンバーとの交流もJC活動を行ううえでは大切なことだと私は感じています。各種大会や各地会員会議所の皆様との交流を通じて外部からの刺激をいただくことにより、身近に青年会議所活動を感じ、LOMへの還元、自己成長に繋げる環境構築を目指します。

#### <未来のリーダーのため>

「人を想い、その人たちのために疲れることのできる人間になりなさい。そして義理人情に厚い人間になりなさい。」この言葉は私が尊敬する方からの教えで、今もこの言葉を大切に日々、社業やJC活動に励んでいます。私が考えるリーダー像とは人の気持ちを汲み、人の気持ちになって行動すること。自分よがりではなく、人の為に奮闘すること、そう考えていました。しかし時に力強く、強引に引っ張る力が私にはまだ兼ね備わっていません。リーダー像とは人それぞれ違うと思っていますが、私は今、必要なリーダーシップは対話であると考えます。メンバーに想いを伝え、対話を繰り返しながら、関係性を構築していく。誰一人取り残さない持続可能な社会を実現していくうえで求められています。青年会議所は、0を1にできる団体です。自らが、誰かを想う心を原動力に、第1歩を生み出し、知恵を振り絞り、メンバーからはもちろん、まちをより良く地域や社会に必要とされ続けるリーダーを育成していきます。

#### <地域に根差したまちづくり>

私たちさくら青年会議所の活動エリアは、桜をはじめとする様々な美しい自然の魅力に恵まれた地域です。しかし、冒頭で申しあげたとおり、少子高齢化や人口減少が進み、イベントの削減や簡素化の影響で地域の魅力を外部へ発信できていないのではないかと考えております。現代の状況下で、外部発信や地域創生にはそれぞれ地域の人々の力が必要不可欠であることから、積極的に地域活動に参画し、地域創生に向けて取り組むことが重要です。私が考えるまちづくりとは郷土を愛し主体的に地域に関わることのできる人財を多く輩出することであると考えます。また、私たちの活動エリアにはたくさんの魅力が存在しています。この地域に暮らす町民が郷土愛をさらに高め、自分のまちに誇りを持つ必要があります。魅力ある地域として今後も発展していくためには、そういった地域の魅力を再認識する機会を創出し郷土愛を醸成することで、自分たちのまちに誇りを持った地域の未来をつくります。そのためには地域に目を向け、自分自身が地域の魅力となり、今の時代にあった方法で行政や市民団体と連携し、まちの人びとと共に活動することでさくらの魅力に満ちたまちづくりを目指します。

#### <広報戦略>

青年会議所活動においてSNSを上手に活用することは必須であると考えます。私自身、入会前、青年会議所は何の活動をしているのだろう、いつ何をやっているのだろうと思っています

ました。この思いや疑問を持っている人は多くいるのではないかと考えます。また、卒業された先輩諸兄姉の皆様へも現役会員の活動をより知っていただくべきではないかと感じております。本年は広報活動を行うにあたり、「知らない人に活動を知ってもらおう」「誰でも気軽に覚えてもらえる」「身近に感じてもらえる」を念頭におき、事業の案内、報告だけではなく、普段の活動紹介、事業開催までに至る準備段階の様子や、メンバーの想いを広く継続して発信し続けていく必要があると考えます。また一方的な広報ではなく、多くの方に見て頂けるような仕掛けを模索し、広報がもたらす効果をメンバー一人ひとりが理解することでさらに、地域の魅力、さくら青年会議所の魅力を知っていただけるような広報活動を目指します。

#### <次世代へ繋げる青少年育成>

私たちの住み暮らす地域が持続的に発展するためには、まちの将来を担う子どもたちの健全な育成が必要です。子どもたちが、まちの魅力や課題を身近に感じ、自ら考えて判断し行動する自律力、多様性を尊重したコミュニケーション能力、そして問題を解決し新たな価値を生み出す創造力をもった人財へと成長することが、このまちの明るい未来へと繋がります。10年後、20年後、社会構造や技術の進歩により現在からは想像がつかないほどの大きな変化を遂げるでしょう。これからの時代の中核を担っていくのは、現在の青少年たちにほかなりません。だからこそ我々は、学校生活では体験できない青年会議所だから実施出来る唯一無二の機会を子どもたちと協力して作り上げることで、ふるさとを思いやる気持ちを育み、郷土愛を醸成させます。また、子どもたちが地域に誇りを持つためには自身が住まう地域の特色を理解し外部への発信が必要不可欠だと考えます。持続可能な事業の仕組みを構築し子どもたちが継承できる文化の形成と継承を行って参ります。

#### <未来に繋げるパートナーシップ>

私の考える地域にとっての有益とは、そこに住み暮らす地域住民が笑顔で健やかに暮らせる地域です。その実現に近づくためには、まず現状の地域課題を理解し、課題解決に向かわなければなりません。現状以上に関係構築を深めなければ、地域のためどころか誰のためでもないと考えます。より良い地域を目指すために、行政や他団体等も巻き込み、地域住民と協働し、交流の機会を通して互いの考えを理解すること、地域全体で課題解決へ向かう姿勢が大切です。人と人との繋がりを強固なものとし、住み暮らすさくらの地域のために行動します。

<結びに>

我々に今できることは限りがあるかもしれません。しかし、チャレンジをしなければ何も得ることができません。1人では経験できないこと、社業では経験できないことへ仲間とともに誰もがチャレンジし、成功や失敗を経験し成長する機会を自ら掴み取る、それができる団体が青年会議所であると信じています。すべては勇気をもって踏み出した、その小さな一歩から始まります。1つ1つのことを丁寧に確実に積み上げて経験を蓄積していくことで、地域、メンバー、次代のさくら青年会議所へと還元できると考えます。しかし、それぞれの思いだけで実現は不可能です。全員が同じ方向を向き、進むために意見を出し合い、議論し、高い志を持ち進みましょう。最初は分からなくて当然です。しかし、分からないで済ませずともに悩み、考え、1歩ずつ前に進みましょう。私たちの行動で次代にバトンをつなぎましょう。その使命を持ち、1年間走り続けましょう。私はさくら青年会議所が今後も地域社会の発展に寄与し続けていく存在となるために、日々学び続け行動に移すことで、新たな価値を創造できると確信しています。

#### 【2025年度スローガン】

一味同心 ～その先へ～

一味同心

志高く皆で前に進んでいく

基本方針

次代への会員拡大

次代につなぐメンバーの育成

青少年育成・交流

地域のための事業の実施

一般社団法人さくら青年会議所 2025 年度 基本方針

会員拡大会議 議長 平間 俊博

<p>委員会が 目指す未来</p>	<p>さくら青年会議所を次代へ繋ぎ、個々の成長とともに、地域に必要な団体として永続的に活動していくための組織の実現</p>
<p>委員会 設置背景</p>	<p>近年さくら青年会議所は、会員数の減少とメンバーの所属年数の著しい低下により、組織運営の負担が理事に集中しているのが現状です。全メンバーが自己成長し円滑な組織運営のもと、一人ひとりが当事者意識をもって拡大に取り組み、同じ志を持つ新たな仲間を迎え入れ、より効果的な運動発信へとつなげて行く必要があります。</p>
<p>委員会 事業概要</p>	<p>1.事業概要:～第1章～会員拡大の第一歩 全会員が組織全体で会員拡大を行うという意識を向上させるために、運動発進の必要性や地域にとってのJCの存在価値を全員が認識する事で、会員拡大の必要性と危機感を共有します。</p> <p>2.事業概要:～第2章～新たな仲間迎え入れよう 視野の広い拡大運動を展開するために、地域内での異業種交流など、他団体や青年経済人、またOBの皆様などと積極的な交流の機会を設けることで、地域で活躍する方々に青年会議所の理念に共感していただきます。</p> <p>3.事業概要:～第3章～次代に繋がる会員育成 新たな仲間と現役メンバーが積極的に活動へ参加し運動発進をするために、ともに学びある有益な時間を過ごす機会の中で、仲間意識を育み会員候補者と新入会員およびメンバーのつながりを構築する事で、強固な関係性を構築します。</p>

一般社団法人さくら青年会議所 2025 年度 基本方針

まちづくり委員会 委員長 相馬 利也

委員会が  
目指す未来

青少年と各地域の他団体や地域住民と協働し、地域の魅力と郷土愛を創出・発信できる組織の実現

委員会  
設置背景

宮城には豊かな自然や受け継がれてきた文化が豊富にあります。しかし、担い手不足による祭りの中止や規模の縮小などから青少年のそれらへの関心が年々薄まっていることがうかがえます。この状況が続けば自分の地域に何があるか知らないまま過ごすことになり、今まで繋がられてきた自然や文化が消える恐れがあります。

そのような状況を改善するには、地域の方々に自分のまちの良さを再度認識してもらい、良いところをもっと伸ばしていこう、広めていこうという気持ちを持っていただき、その実現のため、さくら JC が一丸となるだけでなく、団体の垣根も超えた活動と発信を行う必要があります。

委員会  
事業概要

1.事業概要: 地域学生との交流事業

新たな地域の魅力として外部発信できる事業を構築するために、行政や他団体と意見交換しながら学生たちと一緒に地域資源を活用した持続可能な事業の仕組みを形成し、地域の学生たちや、通いに来ている学生たちが、この地域に関わってよかったと自慢し、誇れる地域になることにより、地域情報を周りへ発信したくなる郷土愛を醸成します。

2.事業概要: 他団体との交流会

地域の魅力の発見、再発見を共有し、他団体が思う郷土愛をより深く知るために、各団体の事業、地域の各事業、イベント等の参加と運営に携わることで、この地域を愛し誇りを持つきっかけを提供し、JC と地域が互い手を取り合える関係性を構築します。

3.事業概要: 地域の魅力の発信

地域の活性つなげるために、運動の目的や趣旨を知っていただくための活動報告をするだけでなく、実際に参加者した方自身が郷土愛情報を発信、拡散したくなる、地域の逸品を作り上げる参加型の事業を通し、知名度の向上を図ると共に、この地域で活動を行う我々の協力者、協働者の拡大活動にも繋げて参ります。

## 2025 年度例会担当委員会

- 1 月 三役
- 2 月 会員拡大会議
- 3 月 まちづくり委員会
- 4 月 会員拡大会議
- 5 月 まちづくり委員会
- 6 月 会員拡大会議
- 7 月 まちづくり委員会
- 8 月 まちづくり委員会
- 9 月 三役
- 10 月 会員拡大会議
- 11 月 まちづくり委員会
- 12 月 新入会員

## 2025年度一般社団法人 さくら青年会議所収支予算

(単位/円)

### 収入の部

款	項	予算	摘要
会費	正会員会費	¥500,000	50,000円 × 10名
	休会員会費	¥0	
	新入会員会費	¥500,000	50,000円 × 10名
	特別会員会費	¥50,000	50,000円 × 1名
	賛助会員会費	¥730,000	10,000円 × 73名
入会金	新入会員入会金	¥100,000	10,000円 × 10名
その他	雑収入	¥0	
	宮城ブロック大会登録費	¥150,000	10,000円 × 15名
	新年式典登録料	¥0	
	前期繰越金	¥230,287	
	合計	¥2,260,287	

### 支出の部

(単位/円)

款	項	2025予算	摘要
負担金	日本JC会費	¥130,000	基本30,000円 + (5,000円 × 20名)
	JCI会費	¥25,200	1,260円 × 20名
	東北地区協議会会費	¥20,000	基本5,000円 + 1,500円 × 20名
	国際協力資金	¥36,500	1,825円 × 20名
	JC会館協力金	¥30,000	1,500円 × 20名
	地区出向者負担金	¥0	
	宮城ブロック協議会会費	¥71,150	基本10,000円 + 6,150円 × 10名
	宮城ブロック大会登録費	¥150,000	10,000円 × 15名
	東北青年フォーラム大会費	¥0	
		計	¥462,850
購読料	WE BELIEVE購読料	¥31,500	1,500円 × 20名 + LOM分
	計	¥31,500	
事務管理費	JCハウス家賃	¥0	
	通信費	¥48,000	電話、郵送、WEB会議等
	HP管理費	¥112,000	WEB制作(70,000)管理費(3,500×12ヶ月)
	備品・消耗品	¥30,000	コピー用紙、トナー代、事務消耗品等
	リース費	¥92,400	シャープファイナンス(株)(7,700 × 12ヶ月)
	印刷費	¥12,000	
	外部委託費	¥189,000	佐藤吉尚税理士事務所
	水道光熱費	¥0	電気、水道、灯油等
	登記申請手数料	¥10,000	
	雑費	¥10,000	手数料等
	計	¥503,400	
会議費	総会費	¥60,000	30,000円 × 2回
	会議費	¥72,000	24会議分 × 3,000円(三役会及び理事会)
	新年式典	¥0	
	計	¥132,000	
	会員拡大会議	¥100,000	
	まちづくり委員会	¥300,000	
	計	¥400,000	
その他	渉外費	¥40,000	ご祝儀、慶弔見舞金等
	LOM手帳	¥0	
	スローガン横断幕	¥0	
	各種大会参加費助成金	¥0	
	会員慶弔費	¥50,000	
	予備費	¥0	
	基本金繰入金	¥0	
	プレジデンシャルリース刻印代	¥8,800	4代分 × 2,200円
	卒業者記念品	¥35,000	7,000円 × 5名
	備品購入費	¥5,000	
	計	¥138,800	
	合計	¥1,668,550	
	次期繰越	¥591,737	

## 一般社団法人さくら青年会議所

---

〒989-1755 宮城県柴田郡柴田町槻木西1丁目13-25  
TEL.090-8617-0712 FAX.050-3457-8717  
E-mail.info@sakurajc.com  
<http://www.sakurajc.com>

